



表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				インフルエンザ			
	1/5~1/11	~1/18	~1/25	~2/1	1/5~1/11	~1/18	~1/25	~2/1	1/5~1/11	~1/18	~1/25	~2/1	1/5~1/11	~1/18	~1/25	~2/1
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	2.30	1.40	2.35	3.50	90.83	79.70	113.95	159.45	13.36	13.64	17.55	15.00	12.20	15.65	31.40	59.55
定点医療機関数	20				18	20			11				20			
前週比	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↑
コメント	年齢ごとの患者の割合に大差はありませんでした。0歳から29歳…38.6% 30歳から59歳…31.4% 60歳以上…30.0%				乾燥注意報が続いています。乾燥すると、のどの防御機能が低下するため、室内の湿度は50~60%に保ちましょう。				学校保健安全衛生法施行規則では、病状により医師が感染のおそれないと認めるまでが出席停止の期間と示されています。				近隣の県及び松戸保健所管内の定点報告数が国が定める警報基準値30を再び超えました。基本的感染対策を徹底しましょう。			
千葉県	1.44	1.32	1.78	2.58	60.49	54.90	77.09	107.62	7.41	7.64	9.32	10.12	11.15	13.90	23.79	46.08
前週比	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
東京都	0.81	0.78	1.04	1.48	47.09	42.32	59.48	79.75	7.98	9.80	13.05	14.91	6.88	7.25	13.83	26.67
前週比	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

### インフルエンザが再び増加 9割がB型

松戸保健所管内のインフルエンザ定点医療機関あたりの報告数は昨年11月の90.29をピークに減少していましたが、再び増加しています。市内の小中学校では学級閉鎖も出ています。

#### インフルエンザB型の患者数がA型を上回る

インフルエンザはA型、B型、C型があり、流行を引き起こすのはA型とB型です。すでにA型にかかった場合でもB型にも感染することがあります。症状はいずれも38℃以上の発熱、頭痛、悪寒、関節痛・筋肉痛、鼻水、せき、のどの痛み、吐き気、腹痛、下痢などです。

#### 受診のタイミングは発熱後12時間を経過してから

呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ病院を受診しましょう。特に、幼児や高齢者、持病のある人、妊娠中の女性は、肺炎や脳症などの合併症が現れるなど、重症化するおそれがあります。発熱12時間未満の場合は、検査の結果が陽性とならない可能性がありますので、症状にもよりますが、検査は発熱後12時間~48時間以内に受けることをお勧めします。

#### せき・くしゃみの飛沫は1~1.5メートル飛ぶ

インフルエンザは飛沫感染、接触感染します。感染している人の気道分泌物の小粒子を吸い込んだり、ドアノブ等に付着しているウイルスが手を介して口に入ることで感染します。かぜの症状がある時は、せきエチケットを心がけましょう。食事前、外出後など、こまめな手洗いを心がけましょう。



### 市内医療機関で麻しん患者が発生

習志野市在住の30代の男性が、令和8年1月26日に麻しんと診断され、市内医療機関から松戸保健所に麻しんの発生届の提出がありました。

他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する公共交通機関等を利用していったことが判明しました。

麻しんの感染力は非常に強いので、同じ時間帯に利用された方で利用後21日以内（特に10日前後）に発熱、発しん、せき、鼻水、目の充血等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、かかりつけ医等に事前に電話で相談の上、指示に従い受診してください。受診の際は周囲への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けるようにしてください。

詳しくは市ホームページをご確認ください。

1/20(火)に接触した方は2/10(火)まで  
 1/21(水) " 2/11(水)まで  
 1/22(木) " 2/12(木)まで  
 健康観察期間です。



市ホームページ

#### 1人の患者が12~14人の免疫のない人に感染させる

麻しんは接触感染、飛沫感染、空気感染します。ウイルスは浮遊中や物質の表面で最大2時間感染力を持ちます。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人とされています。

麻しんは予防接種による予防が有効です。

